

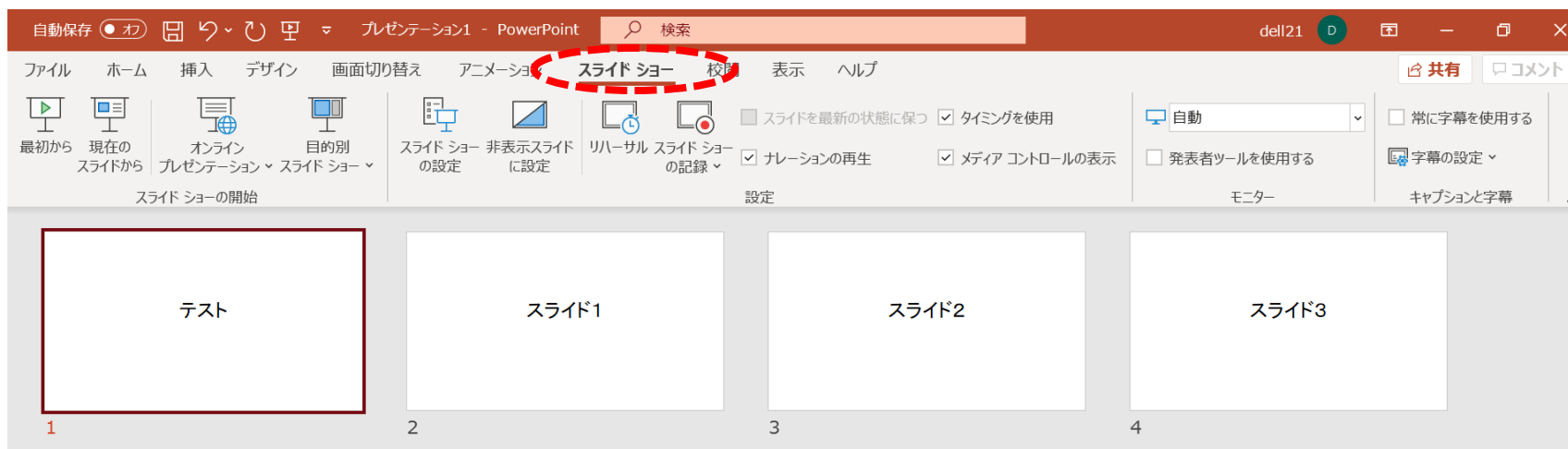
講演動画作成手順

Windows版

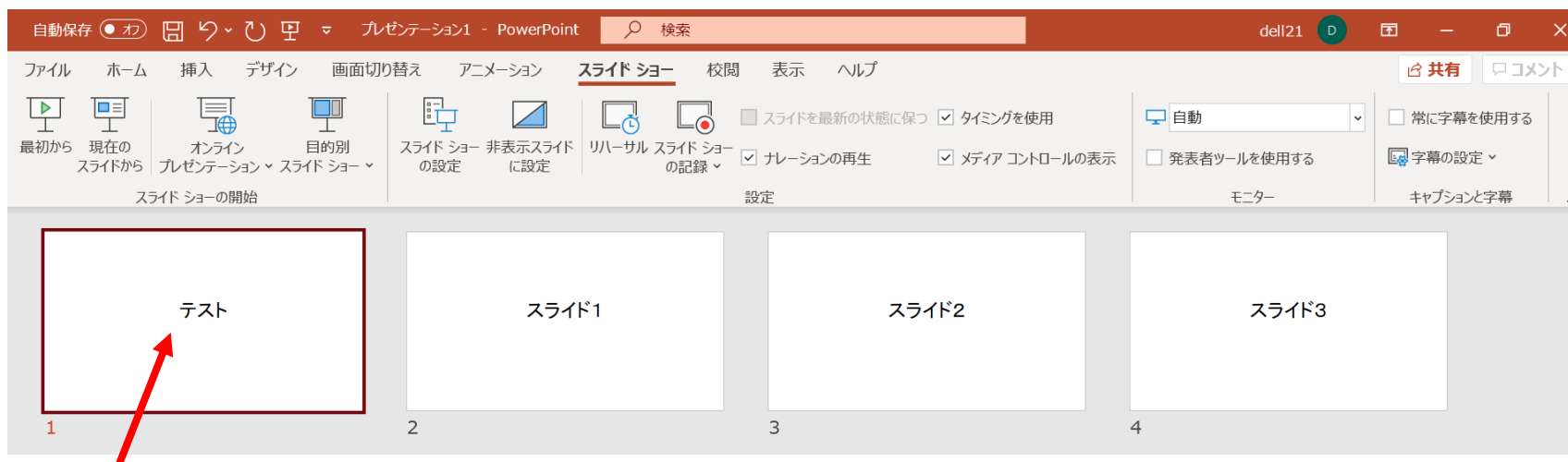
[使用ソフト]

- 使用するソフトは講演用に作成されたパワーポイントのみです。
- 別途特殊なソフトはございません。パワーポイントの「ビデオの作成」機能を利用し動画を作成いただけます。
 - ※Macintoshでは2019以降のバージョンのパワーポイントでないと「ビデオの作成」に対応しておりませんのでご注意ください。
- PCのマイク（外部マイクをPCに接続しても可）を利用します。
- 必要に応じてPCのカメラを利用し収録いただいても結構です。

1. 講演に使用するパワーポイントを開く（※パワーポイントのバージョン違いによって若干画面が違う場合がございます）
2. パワーポイントの「スライドショー」タブをクリックする。

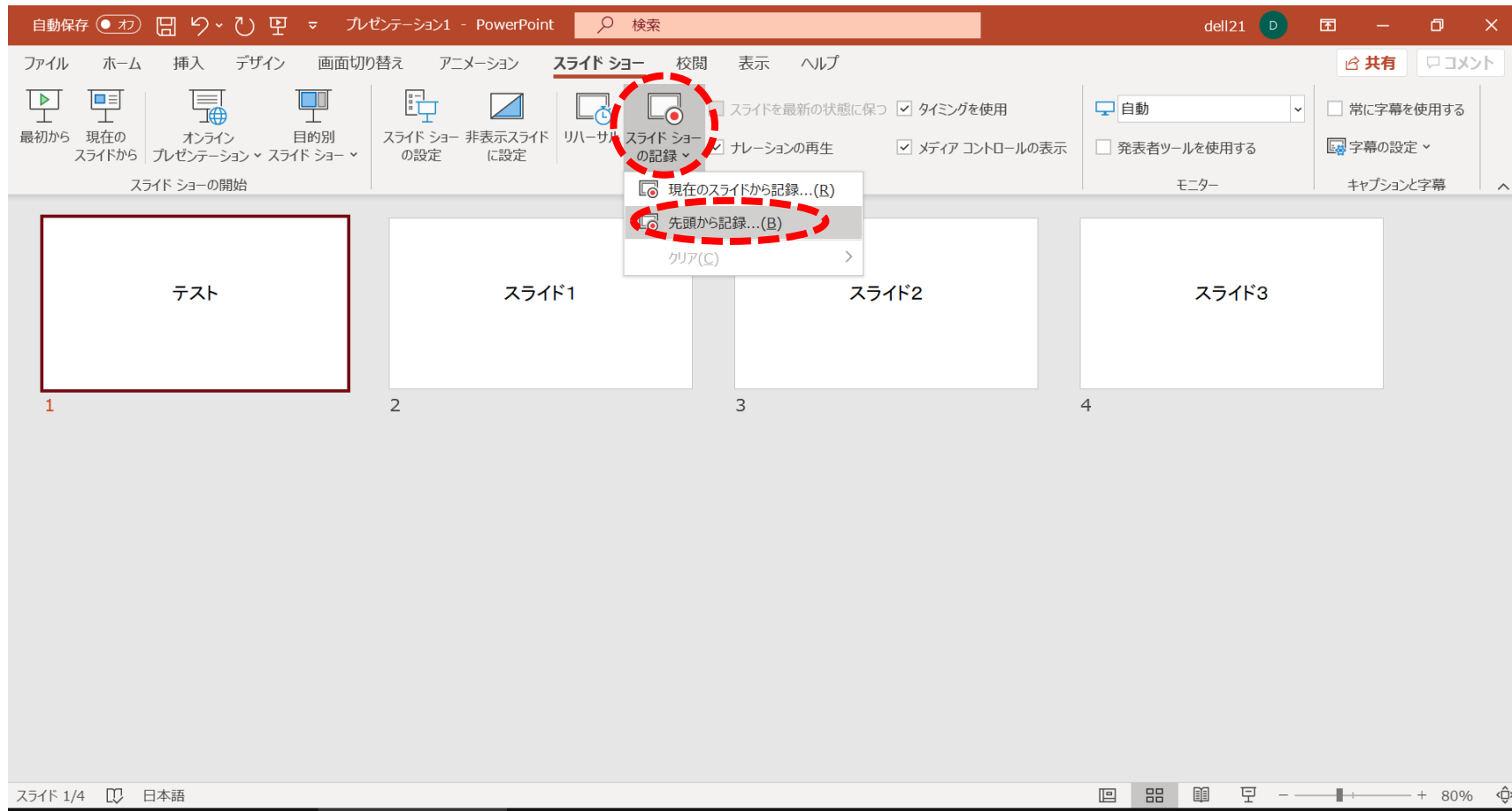


3. スライド1枚目が選択されていることを確認する。



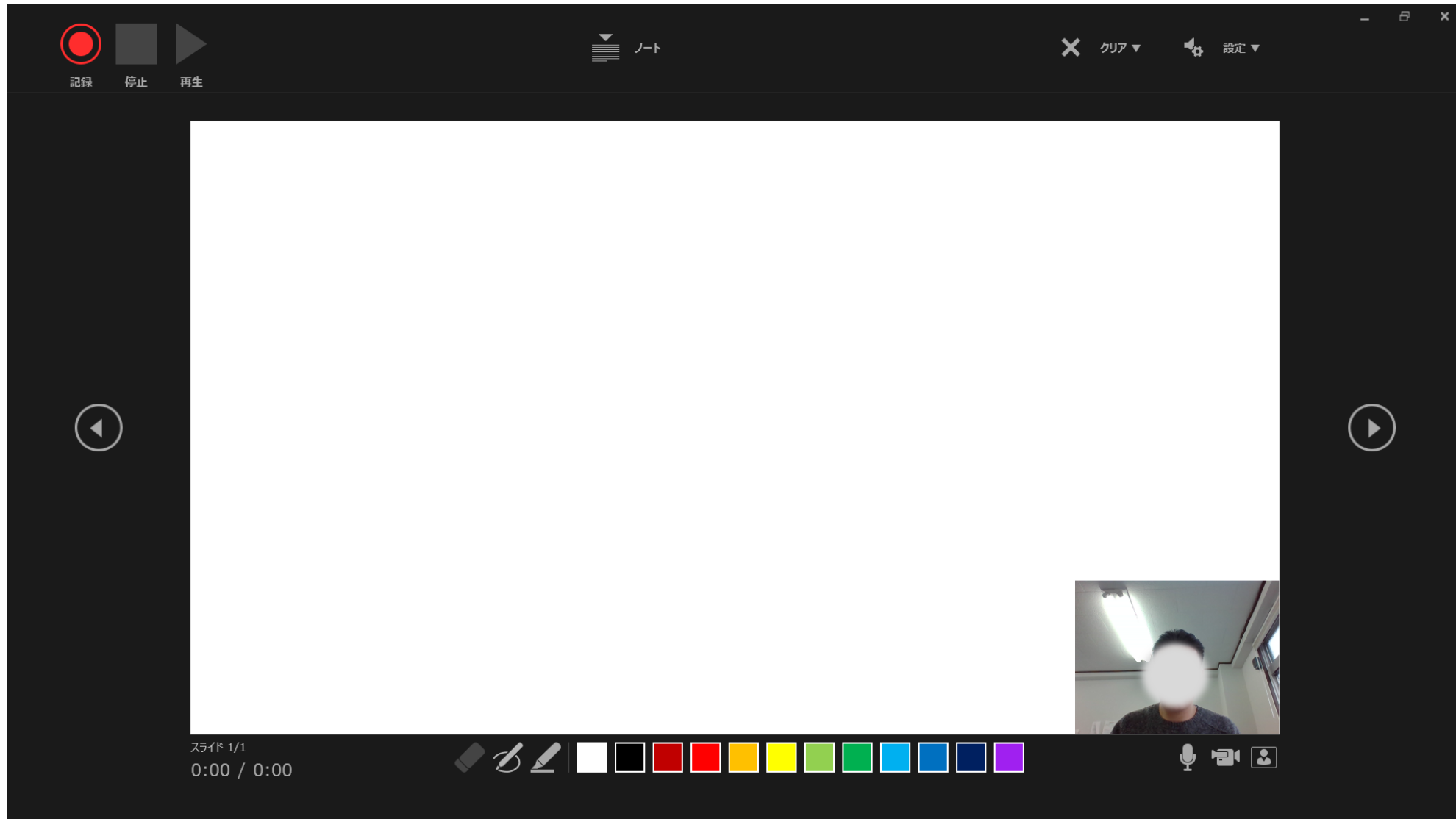
注意！）この次の手順で記録が開始します。別スライドが選択されていた場合、そこからの開始となります。

4. 「スライドショーの記録」をクリックします。
「先頭から記録」をクリック



※途中から撮り直したい場合は取り直したいスライドを選択し、「現在のスライドから記録」をクリック

5. 以下の画面が立ち上がります。



Windows版

6. マイクがONになっていることを確認して「記録」をクリックしてください。カウントダウン後、動画記録が始まります。



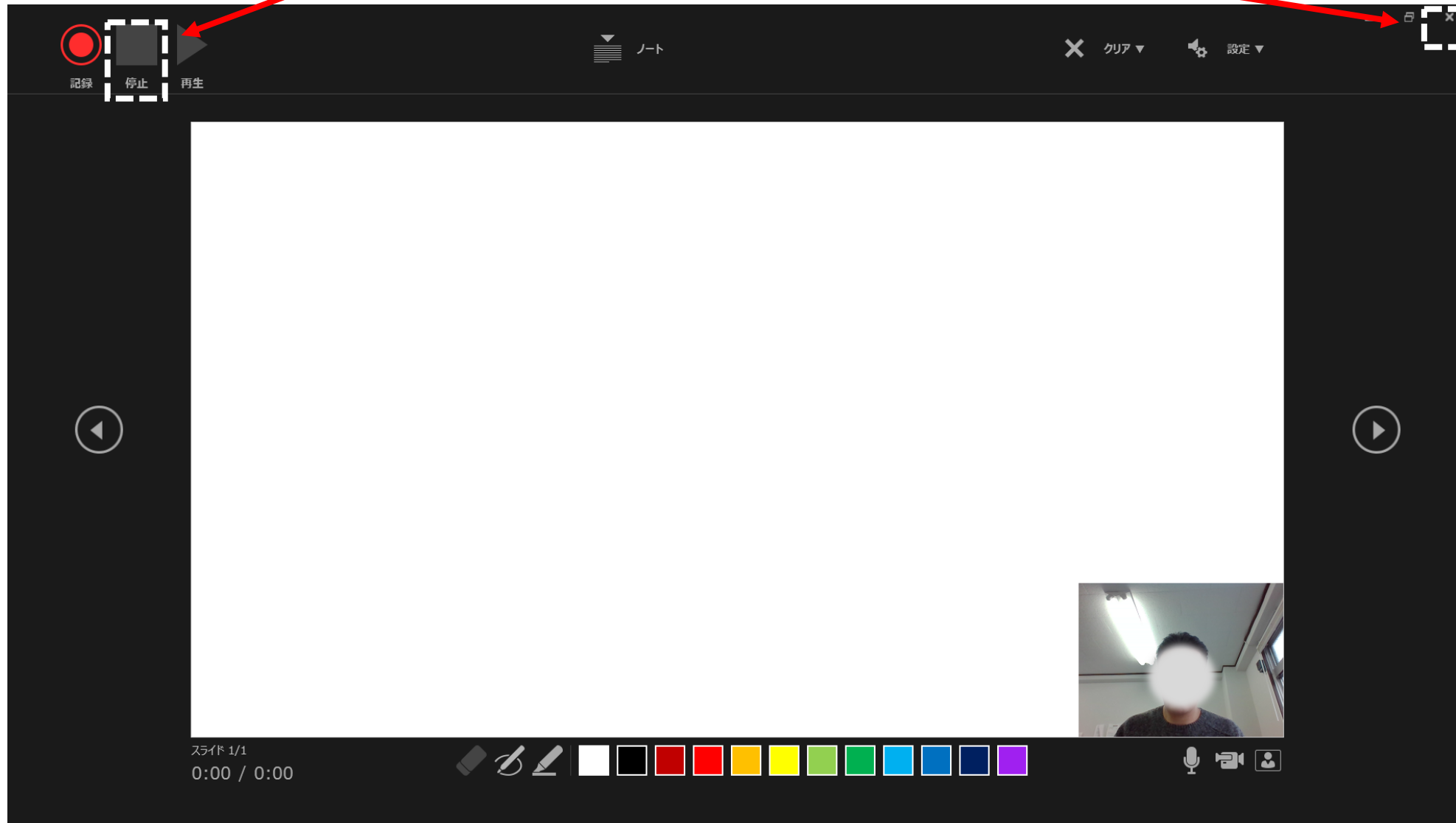
**注意！）PCのマイクは集音性能が低いものが多いので、大きな声で講演ください。
記録本番前にテスト収録とテスト再生をいただくことをお勧めします。**

マイクはこのアイコンが正解です。
「ON状態」

カメラ機能が不要であれば、
こちらをクリックしてくだ
さい。
カメラ画面がなくなります。

Windows版

7. 講演が終わりましたら「停止」をクリックし、右上の「×」をクリックし、画面をとじてください。



Windows版

8. 「エクスポート」 → 「ビデオの作成」 → 「フルHD(1080 p)」完全高画質(1920×1080)をクリックする。
「ビデオの作成」をクリックし、
「記録されたタイミングとナレーションを使用する」になっていることを確認。

エクスポート

PDF/XPS ドキュメントの作成

ビデオの作成

アニメーション GIF の作成

プレゼンテーション パック

配布資料の作成

ファイルの種類の変更

Microsoft Stream に公開

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。
記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

フル HD (1080 p)
最大ファイル サイズおよび完全高画質 (1920 x 1080)

記録されたタイミングとナレーションを使用する
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ファイル名(N): テスト.mp4

ファイルの種類(T): MPEG-4 ビデオ (*.mp4)

枠内のボタンをクリックし、「MPEG-4ビデオ(mp4)」で保存してください。

Windows版